



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.188 2019 January

今月の記事

Top News

- 大学改革支援・学位授与機構シンポジウムを開催1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

- 平成30年度10月期申請に係る学位授与試験を実施2

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

- 29人から学位授与の申請
—修士又は博士相当の課程修了見込者等—
.....2

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

- 台湾の質保証機関HEEACTとスタッフ交流プログラムを実施3

機構の窓

- 会議の開催状況4
- 委員の異動5

主要行事日程

- Schedule（1月～3月）6

TOP NEWS

○ 大学改革支援・学位授与機構シンポジウムを開催

機構は、平成 30 年 12 月 3 日（月）に一橋講堂にて大学改革支援・学位授与機構シンポジウム「先導的取組を通して大学改革の成果と課題を考えるー教学マネジメントの在り方ー ～組織の力で教育力を高めるために～」を開催しました。

機構では、平成 28 年度からの 3 年間、「大学と社会の対話を通して高等教育の発展を考える」を統一テーマとするシンポジウムを開催しており、過去 2 回においては、「グローバル化と地方創生」、「人材とナレッジ」をそれぞれテーマといたしました。最終回である今回は、それらの総括として、「教学マネジメントの在り方」をテーマに大学改革の成果と課題を考えるものです。

当日のプログラムは二部構成となっており、福田秀樹機構長の開会挨拶及び湊屋治夫理事の趣旨説明後、第一部では法政大学総長の田中優子氏による基調講演として、

「法政大学における教学マネジメント ～組織の力で教育力を高めるために～」について講演いただきました。

第二部では、事例紹介とパネルディスカッションが行われ、事例紹介として、芝浦工業大学長の村上雅人氏から「教育マネジメントの在り方」と題し、数値データをもとに議論することの重要性などについて、続いて宇都宮大学地域デザイン科学部長の塚本純氏から「宇都宮大学“地域デザイン科学部”の取り組み ～分野融合の実質化に向けて～」と題し、地域連携や学内組織の整備について、最後に京都大学教育推進・学生支援部長の田頭吉一氏から「教学マネジメントについて」と題し、教学マネジメント事務をまとめる事務部長職の立場からお話いただきました。



開会挨拶する福田機構長



パネルディスカッションの様子

パネルディスカッションでは、コーディネーターの首都大学東京理事／当機構研究開発部客員教授の吉武博通氏の進行のもと、事例紹介者 3 名と当機構山本進一研究開発部長がパネリストとして登壇しました。第一部と第二部での事例紹介を基に登壇者によるディスカッションが行われ、後半には会場も交えて様々な意見が交わされました。

最後に長谷川壽一理事からの挨拶をもってシンポジウムは盛況のうちに終了しました。



当日の会場の様子

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○ 平成30年度10月期申請に係る学位授与試験を実施

「大学改革支援・学位授与機構 平成30年度10月期学位授与試験」として、平成30年12月9日（日）に面接試験を東京で、また、12月16日（日）に小論文試験を全国2か所（東京・大阪）で実施しました。

試験の実施状況は次のとおりです。

	（面接試験）	（小論文試験）
(1) 受験予定者数	49人	529人
(2) 受験者数	49人	527人
(3) 欠席者数	0人	2人
(4) 受験率	100%	99.6%

今後、各専門委員会・部会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成31年2月15日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には学士の学位を授与する予定です。

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○ 29人から学位授与の申請 一修士又は博士相当の課程修了見込者等一

大学院に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の平成31年3月修了見込者等29人（修士課程相当25人、博士課程相当4人）から、学位授与の申請がありました。

今後、各専門委員会・部会における論文の審査及び試験（口述）を経て学位審査会で最終審査が行われ、合格者にはそれぞれ修士又は博士の学位が授与される予定です。

<修士及び博士の学位授与申請者数>

認定課程名	学位（専攻分野）	申請者数（人）
防衛大学校 理工学研究科（前期課程）	修士（理学）	1
	修士（工学）	2
防衛大学校 理工学研究科（後期課程）	博士（工学）	3
防衛大学校 総合安全保障研究科（前期課程）	修士（安全保障学）	9
防衛大学校 総合安全保障研究科（後期課程）	博士（安全保障学）	1
水産大学校 水産学研究科	修士（水産学）	4
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科（前期課程）	修士（看護学）	9
合 計		29

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○ 台湾の質保証機関 HEEACT とスタッフ交流プログラムを実施

当機構と台湾高等教育評鑑中心基金会（HEEACT：Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan）の覚書に基づき、第3回スタッフ交流プログラムとして、平成30年11月18日（日）から21日（水）にかけて、当機構の山本研究開発部長、国際課職員2名及び評価支援課職員1名の計4名が、台湾の HEEACT を訪問しました。

4日間のプログラムでは、HEEACT の行う機関別評価について、訪問調査準備会議を傍聴したほか、国立陽明大学への訪問調査のオブザーブ参加をしました。また、山本研究開発部長が国立政治大学で博士課程クラスの学生に、日本の高等教育や機構が取り組む質保証活動等について講義しました。

国立陽明大学の訪問調査の傍聴を通じて、当機構と HEEACT が実施する訪問調査の類似点と相違点が明らかになり、最終日のフィードバックセッションでは、当機構職員がこれらの成果等について発表しました。また、HEEACT の Angela Hou 執行長から、両機関の研究部門の共同研究及びセミナーの開催について提案がありました。

今回のスタッフ交流プログラムでは、HEEACT の訪問調査参加や意見交換、大学での講義などを通じて、両機関の機関別評価等に対する相互理解を深める貴重な機会となりました。



国立陽明大学訪問調査の会場



HEEACT スタッフとの集合写真



国立陽明大学の訪問調査

機構の窓

○ 会議の開催状況

- ・ 国立大学教育研究評価委員会

第52回 平成30年12月19日(水) 13時30分～15時30分

議事

- 1 達成状況評価に関するポイントについて
- 2 学系別の記載項目の構成及び判定方法等について
- 3 「実績報告書作成要領(案)」及び「評価作業マニュアル(案)」について
- 4 その他

■ 委員の異動

○ 法科大学院認証評価委員会委員

法科大学院認証評価委員会委員のうち1人が退任され、新たに1人が就任されました。

・退任

氏名	退任時の職	在任期間
福井章代	司法研修所教官	平成30年7月4日～平成30年11月30日

- ・法科大学院認証評価委員会委員24人（任期は、平成30年5月1日～平成32年4月30日）
（鈴木委員の任期は平成30年12月14日～）

氏名	現職	氏名	現職
◎磯村保	早稲田大学教授	潮見佳男	京都大学教授
逢見直人	日本労働連合総連合会会長代行	■鈴木巧	司法研修所教官
大澤裕	東京大学教授	土屋美明	共同通信社客員論説委員
奥田隆文	森・濱田松本法律事務所弁護士	中川丈久	神戸大学教授
奥村丈二	中央大学教授	野坂泰司	学習院大学教授
加藤哲夫	早稲田大学教授	長谷川晃	北海道大学教授
金井康雄	元札幌高等裁判所長官	濱田毅	同志社大学教授
紙谷雅子	学習院大学教授	松下淳一	東京大学教授
唐津恵一	東京大学教授	牟田哲朗	平和台法律事務所弁護士
○木村光江	首都大学東京教授	村中孝史	京都大学教授
小林哲也	小林総合法律事務所弁護士	山本和彦	一橋大学教授
佐伯仁志	東京大学教授	吉原和志	東北大学教授

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

主要行事日程

○ Schedule

1月

日	行事名	担当課
17日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第2回）	評価支援課
25日	大学機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
31日	法科大学院認証評価委員会（第3回）	評価支援課

2月

日	行事名	担当課
1日	平成30年度人材育成セミナー「IRデータ分析ワークショップ（第2回）」	評価企画課
4日	大学ポートレート運営会議（第10回）	評価企画課
15日	学位審査会（平成30年度第4回）	学位審査課
22日	学位記伝達式・講評	学位審査課

3月

日	行事名	担当課
1日	大学機関別認証評価委員会（第4回）	評価支援課
7日	高等専門学校機関別認証評価委員会（第3回）	評価支援課
14日	法科大学院認証評価委員会（第4回）	評価支援課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education